

日本の朝食

Marilyn Thayer

Lindsay Collegiate
Ontario, Canada



学習者年齢： 14～18才
日本語レベル： 初級(学習時間30～50時間)
文化面の目的： 日本とカナダの食生活を比較する
日本人の礼儀正しさを学ぶ
学習する日本語： 食事に関連する語句
“いただきます、ごちそうさま、～はす
きですか”

学習目標

夕食とあまり変わらないほど量の多い日本の朝ごはんを例に、はしの使い方などを学びながら、生徒の関心が高い食生活について、日本とカナダを比較する。「いただきます」「ごちそうさまでした」などのあいさつことばを習うことを通じて日本人の礼儀正しさを学ぶ。

生徒は、体験を通じた学習に興味を持つので、演劇は外国語を学ぶのに非常に効果的である。

授業の進め方

<用意する物>

- ・テーブル1卓と椅子2脚（低い机だけでもよい）
- ・日本の朝ごはん（本物のごはん、味噌汁、焼き魚、野菜、漬け物など）
- ・茶碗などの和食器と生徒の人数分のはし
- ・教師用の台本と、生徒に手渡す平易な日本語で書かれた台本

<進行方法>（所要時間）

1. 構文「～が好きですか」「はい、好きです」「何ですか」「～です」や

語いの復習をする。（5分）

2. 教師と日本人アシスタントが、教師用の台本に沿って朝食の場面を演じて見せる。このとき、アドリブを入れたり、動作を加えたりするとよい。これは、生徒が会話を聞きながら、小道具やしぐさあるいはキーワードを手がかりに意味を推測する力を養うためのものであり、必ずしも会話の意味をすべて理解しなくてもよい。（8分）
3. 次に、生徒2人が同じ場面をまねして演じてみる。せりふは先生が後ろでささやく。（5分）
4. 感想や質問を述べながら、英語で話し合う。食べ物、食器、カナダの朝食との違いや礼儀正しい食べ方に焦点を置く。（10分）
5. 生徒たちが新出単語をあげ、その意味を確認しながらドリル練習をする。再度朝食の場面を演じて、新出単語を確認してもよい。（5分）
6. 生徒用の台本を基にペアを組んで練習する。（12分）
7. はしの使い方を覚え、ロールプレイ用に並べてある朝ごはんを実際に食べてみる。（10分）
8. せりふを覚え、次の授業の時ペアを組んで演じる。

<台本のあらすじ>

日本人の家に招待された西欧人が朝食をとる。初めに主人が客を呼び、客が席に着く。「いただきます」のあいさつで朝ごはんを食べ始める。「魚は好きですか」「おいしいですか」などの質問を交えて会話をする。主人が、味噌汁の飲み方を客に見せ、客はそれをまねる。カナダの朝食と比較して、日本の朝ごはんの量が多いことに客は驚く。「ごちそうさま」のあいさつで食事を終える（日本とカナダの朝ごはんを比較する部分は教師用の台本にだけ入れる）。